

**男女が共に生きるまち  
八王子プラン(第4次)策定  
に向けて**

令和5年（2023年）5月31日  
第1回男女共同参画推進審議会

# 1. 男女共同参画について

# 1. はじめに

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 1-1. 男女共同参画に関する主な動き

	日本	東京都	八王子市
1979	「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」に署名		
1985	上記条約を批准		
1999	6月:「男女共同参画社会基本法」施行		4月:「男女が共に生きるまち八王子プラン」策定
			12月:「男女共同参画都市」を宣言
2000	12月:「男女共同参画基本計画」策定	3月:「男女平等参画基本条例」施行	
2023			4月:「男女共同参画推進条例」施行

# 1-2. 男女共同参画社会とは①

## 男女共同参画社会とは？

性別にかかわらず、「社会の対等な構成員」として、自らの意思によって社会のあらゆる分野で活動ができ、それにともなって男女ともに同じに利益を受け、責任を担う社会

男女共同参画社会基本法（平成11年6月23日法律第78号）  
（定義）第2条 より要約



# 1-2. 男女共同参画社会とは②



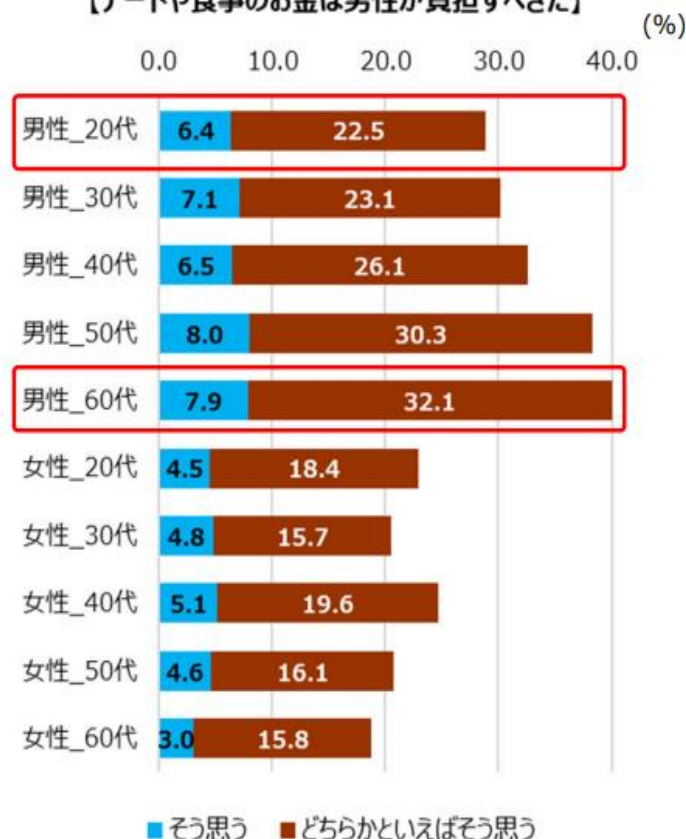
## 令和4年度内閣府調査結果

### 性別役割意識<性・年代別>

【男性は結婚して家庭をもって一人前だ】



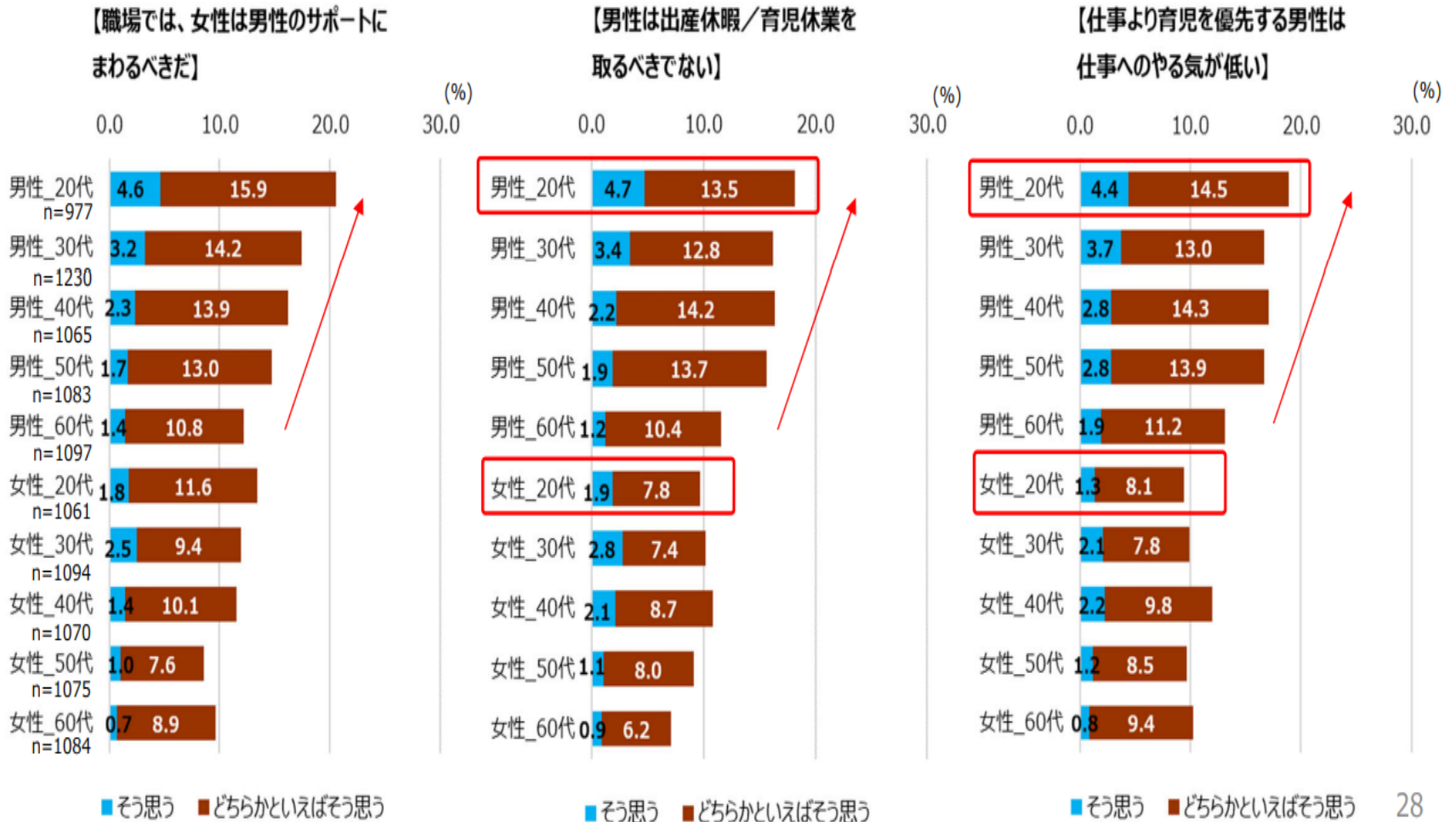
【デートや食事のお金は男性が負担すべきだ】



# 1-2. 男女共同参画社会とは③



## 令和4年度内閣府調査



# 1-3. 男女共同参画の推進状況①

## ジェンダー・ギャップ指数

### 日本の順位

**116位 / 146か国**

《各分野における順位》

- 健康分野：63位
- 教育分野：1位
- 経済分野：121位
- 政治分野：139位

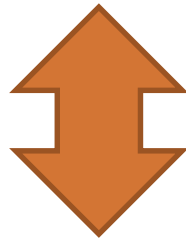
順位	国名	指数
1	アイスランド	0.908
2	フィンランド	0.860
3	ノルウェー	0.845
4	ニュージーランド	0.841
5	スウェーデン	0.822
⋮	⋮	⋮
116	日本	0.650



## 1-3. 男女共同参画の推進状況②

### 「男女共同参画」が進まない原因

性別による固定的役割分担意識  
アンコンシャス・バイアス

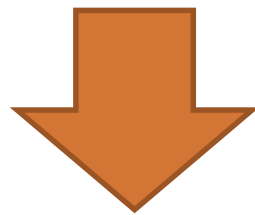


社会における制度・慣行

# 1-3. 男女共同参画の推進状況③

## 新型コロナウイルス感染拡大の影響

DVや非正規雇用の失業など  
女性に関する課題が深刻化・顕在化



人権侵害にも関わ  
る重要な問題

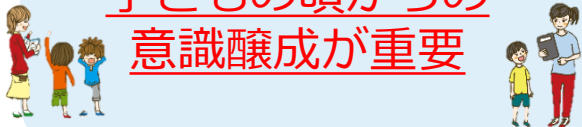
困難女性支援法  
施行予定

# 1-4. 男女共同参画推進に向けて

## 条例制定における3つのポイント

固定的な性別役割分担意識をなくすためには

子どもの頃からの意識醸成が重要



次世代を担う子どもたちが社会に出ていきいきと活躍していくため、社会全体で男女共同参画の推進が必要



コロナ禍におけるDVや非正規雇用など女性に関する課題の顕在化

学校・地域・家庭で男女共同参画の推進が必要です

事業者・地域で男女共同参画の推進が必要です

人権侵害にも関わるDVなどをなくす必要があります

## **2. 八王子市における 男女共同参画の推進計画 について**

# 2-1. 基本計画における位置づけ

## 八王子未来デザイン2040

「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」



## 2-2. 第3次プラン

### 男女が共に生きるまち八王子プラン（第3次）2019改定版

#### ●基本目標●

人がひととして尊重されいきいきと暮らせる  
男女共同参画社会の実現をめざして

#### 【3つのめざす姿】

- 1.男女平等意識を確立し、あらゆる分野で男女が参画できる社会
- 2.男女が互いに人権を尊重し暴力のない社会
- 3.仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現し、男女が安心して、いきいきと生活できる社会

## 2-3. 第3次プランでの課題①

### めざす姿 1 男女平等意識を確立し、あらゆる分野で男女が参画できる社会（評価報告書P4～7）

男女平等と男女共同参画の  
意識づくり

あらゆる分野への  
男女共同参画の推進

#### 今後の方向性

- ・ 社会慣行や社会構造を変えていくことが必要
- ・ 政策・方針決定過程における女性の参画の必要性を、男女共に認識することが重要

## 2-3. 第3次プランでの課題②

### めざす姿2 男女が互いに人権を尊重し暴力のない社会 (評価報告書P8~13)

配偶者等からの  
あらゆる暴力の  
根絶

困難な状況に置かれて  
いる方が安心して  
暮らせる環境づくり

生涯にわたる性と  
生殖に関する健康と  
権利の確立

#### 今後の方向性

- ・ 潜在化・深刻化させないための相談
- ・ 子どもの頃から意識啓発



## 2-3. 第3次プランでの課題③

**めざす姿3 仕事と生活の調和が実現し、男女が安心して、いきいきと生活できる社会**（評価報告書P14～17）

ワーク・ライフ・バランス  
の実現のための意識づくり

男女が共にいきいきと  
働くための環境形成

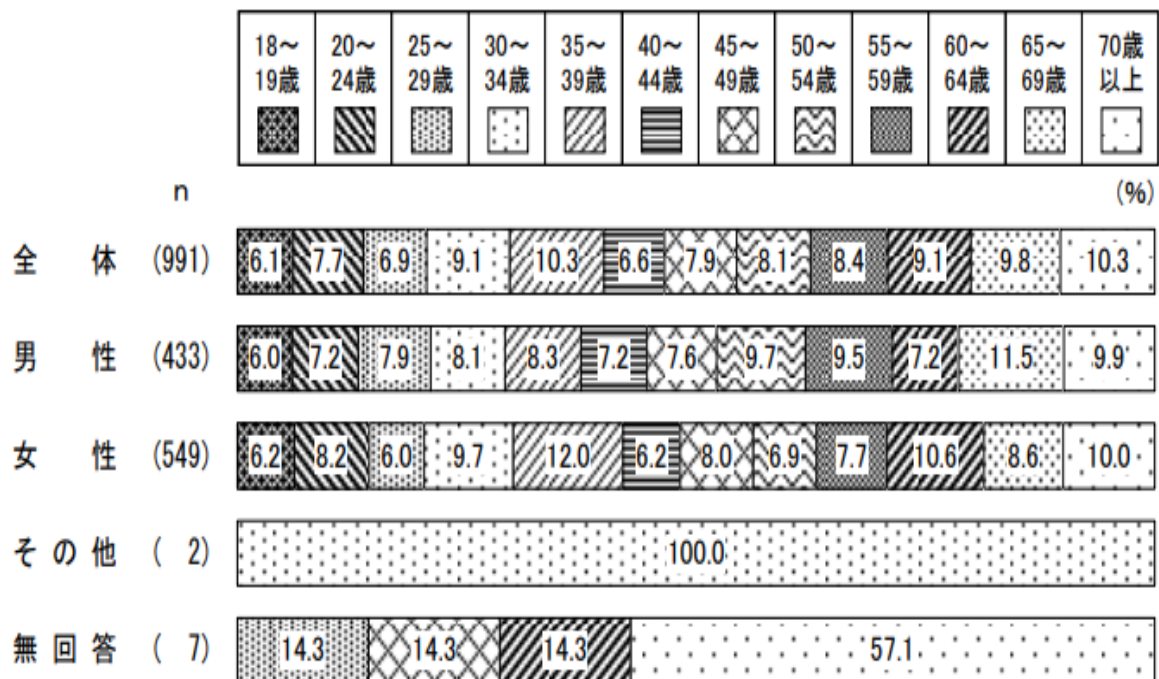
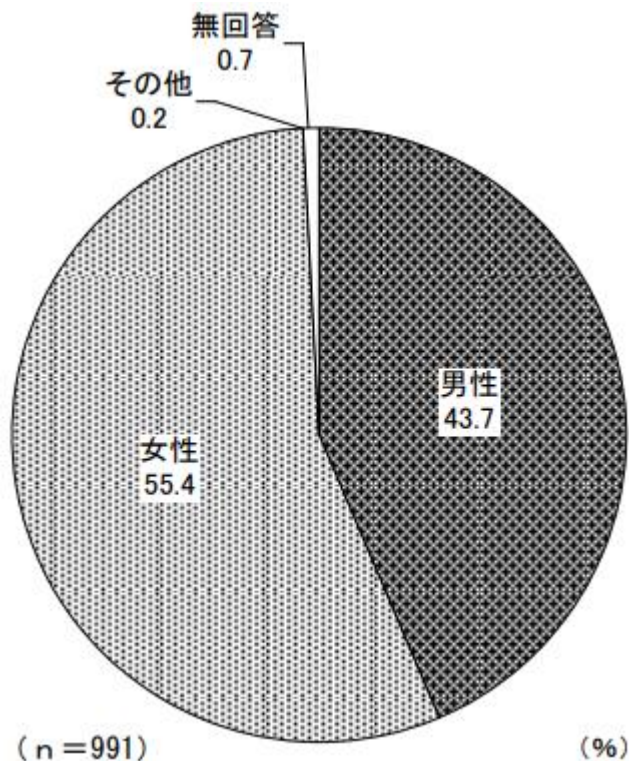
今後の方向性

- ・ 家族や人生の多様化により、社会全体の意識を変えていく必要がある。
- ・ 個人ではなく、組織としての課題として取り組む必要がある。

# **3. 市民意識・実態調査 について**

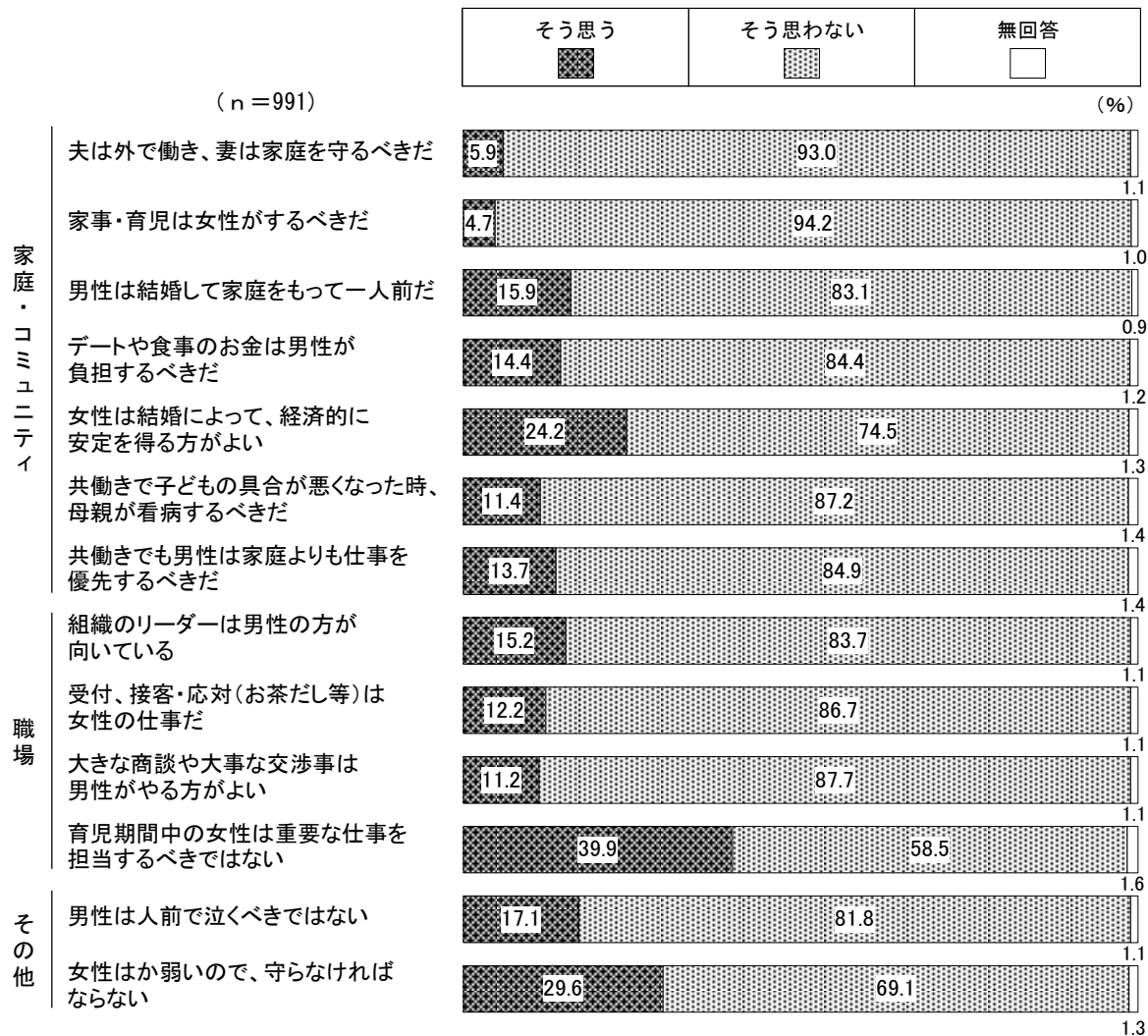
# 3. 市民意識・実態調査について

調査期間 令和5年（2023年）1月13日～2月6日  
 対象者数 3,000人（市内在住18歳以上）  
 有効回収数 991票（回収率33.0%）  
 ⇒郵送回収67.8% 電子申請32.2%



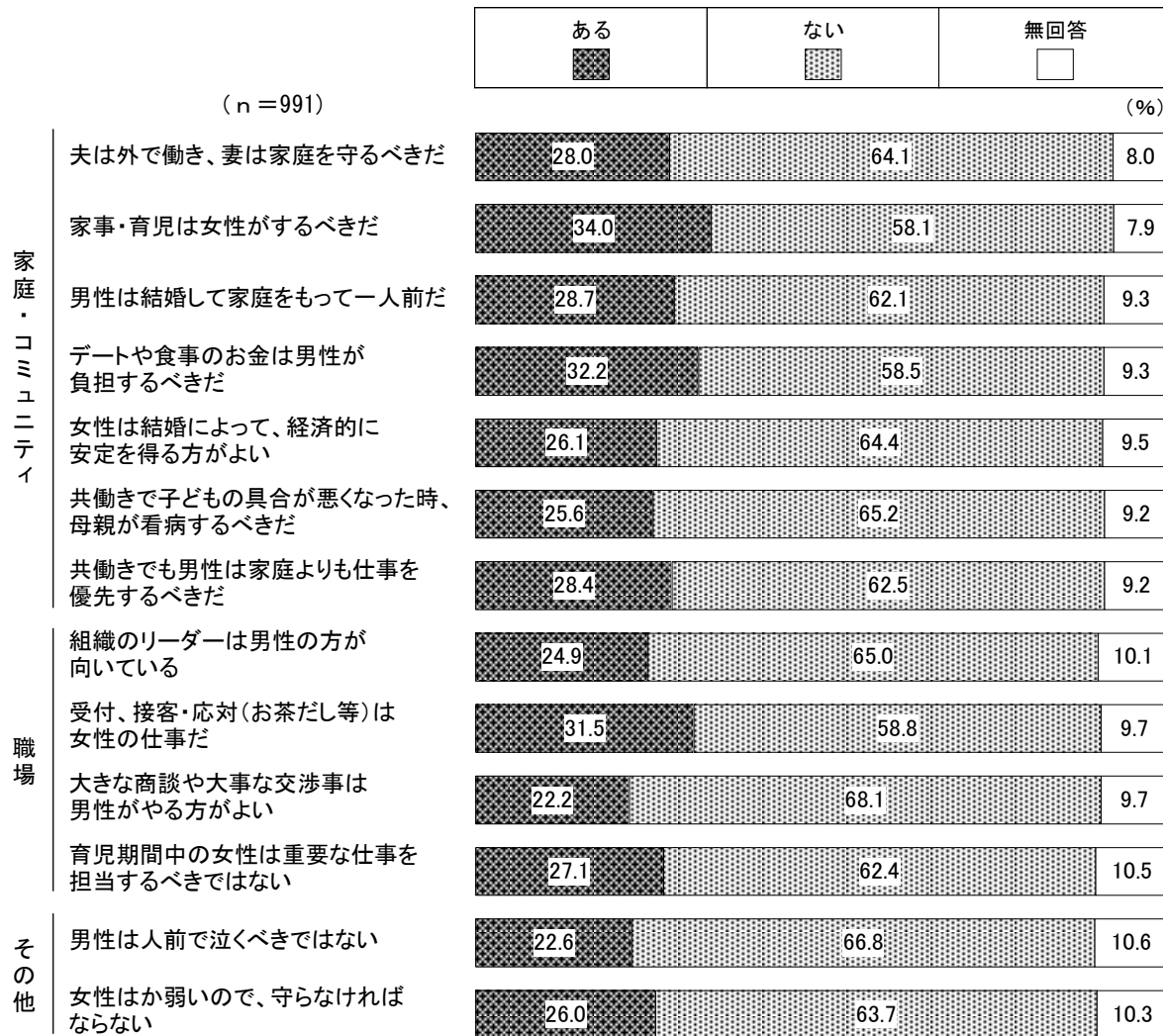
# 3-1. アンコンシャス・バイアスについて①

## 【家庭・コミュニティ、職場などに対する考え】



# 3-1. アンコンシャス・バイアスについて②

## 【直接言われた経験・言動や態度から感じた経験】



# 3-1. アンコンシャス・バイアスについて③

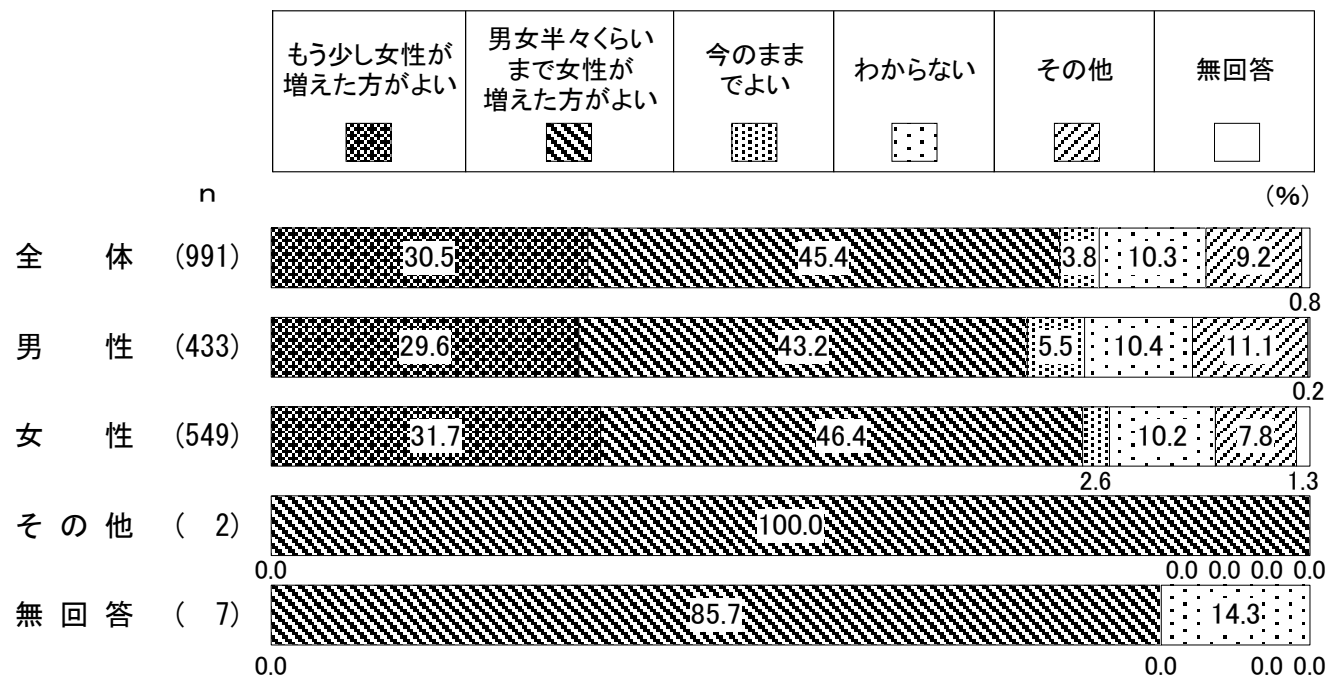
【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」と直接言われた経験・言動や態度から感じた経験】

		n	ある				ない	無回答
			家族に言われた・感じさせられた	知人や友人に言われた・感じさせられた	教師等教育関係者に言われた・感じさせられた	職場の上司や同僚に言われた・感じさせられた		
全 体		991	16.2	8.3	5.2	10.4	64.1	8.0
性別	男 性	433	10.2	8.3	4.8	12.0	69.1	7.2
	女 性	549	21.1	8.2	5.5	9.1	60.1	8.6
	そ の 他	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-
	無 回 答	7	-	-	-	-	85.7	14.3
男性・年代別	18～19歳	26	3.8	3.8	3.8	-	84.6	3.8
	20～29歳	65	9.2	1.5	13.8	12.3	67.7	4.6
	30～39歳	71	9.9	12.7	4.2	14.1	73.2	2.8
	40～49歳	64	15.6	12.5	3.1	20.3	65.6	4.7
	50～59歳	83	14.5	9.6	3.6	9.6	59.0	10.8
	60～69歳	81	8.6	8.6	3.7	14.8	67.9	9.9
	70歳以上	43	2.3	4.7	-	2.3	81.4	11.6
女性・年代別	18～19歳	34	2.9	11.8	5.9	-	82.4	2.9
	20～29歳	78	19.2	7.7	3.8	10.3	65.4	2.6
	30～39歳	119	21.8	8.4	4.2	11.8	68.1	1.7
	40～49歳	78	25.6	6.4	7.7	9.0	56.4	7.7
	50～59歳	80	22.5	12.5	7.5	13.8	53.8	8.8
	60～69歳	105	22.9	6.7	4.8	5.7	55.2	16.2
	70歳以上	55	21.8	5.5	5.5	7.3	45.5	21.8

令和4年度男女共同参画に関する  
市民意識・実態調査 10Pグラフ

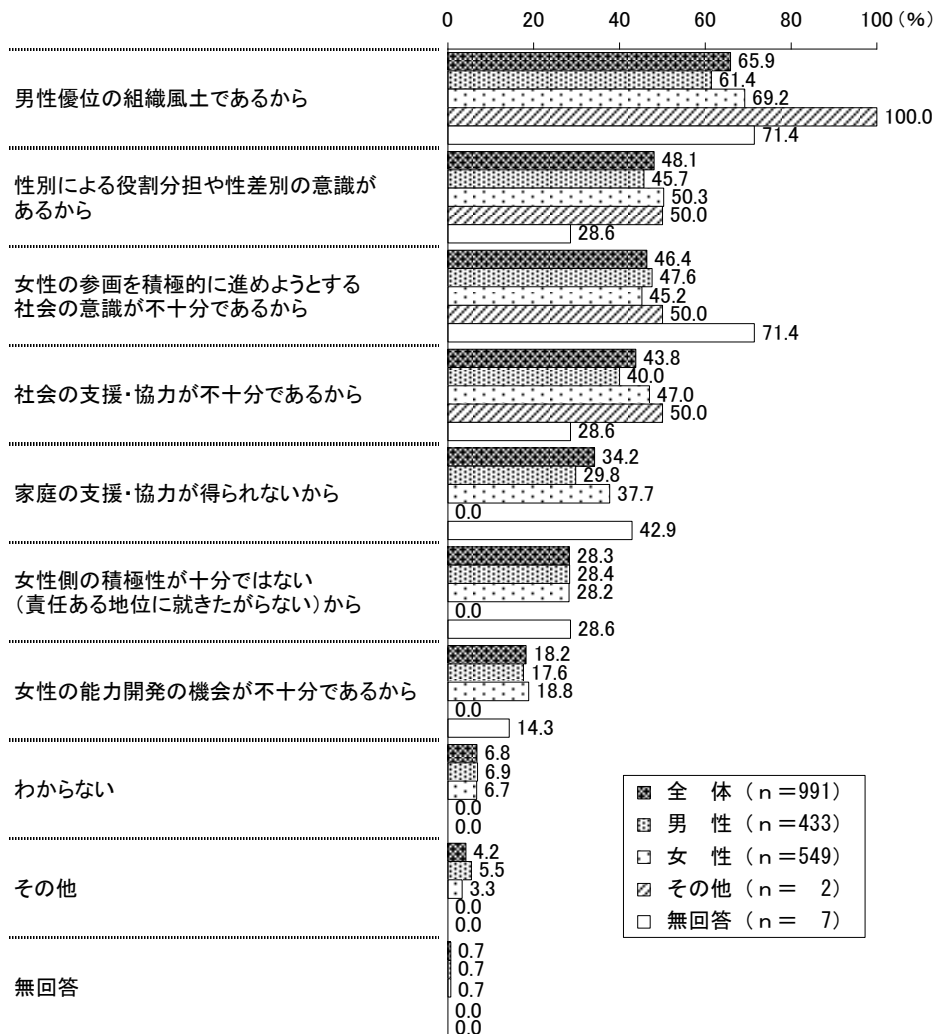
# 3-2. 政策・方針決定過程への女性の参画について①

政策・方針決定過程への女性の参画についての考え



# 3-2. 政策・方針決定過程への女性の参画について②

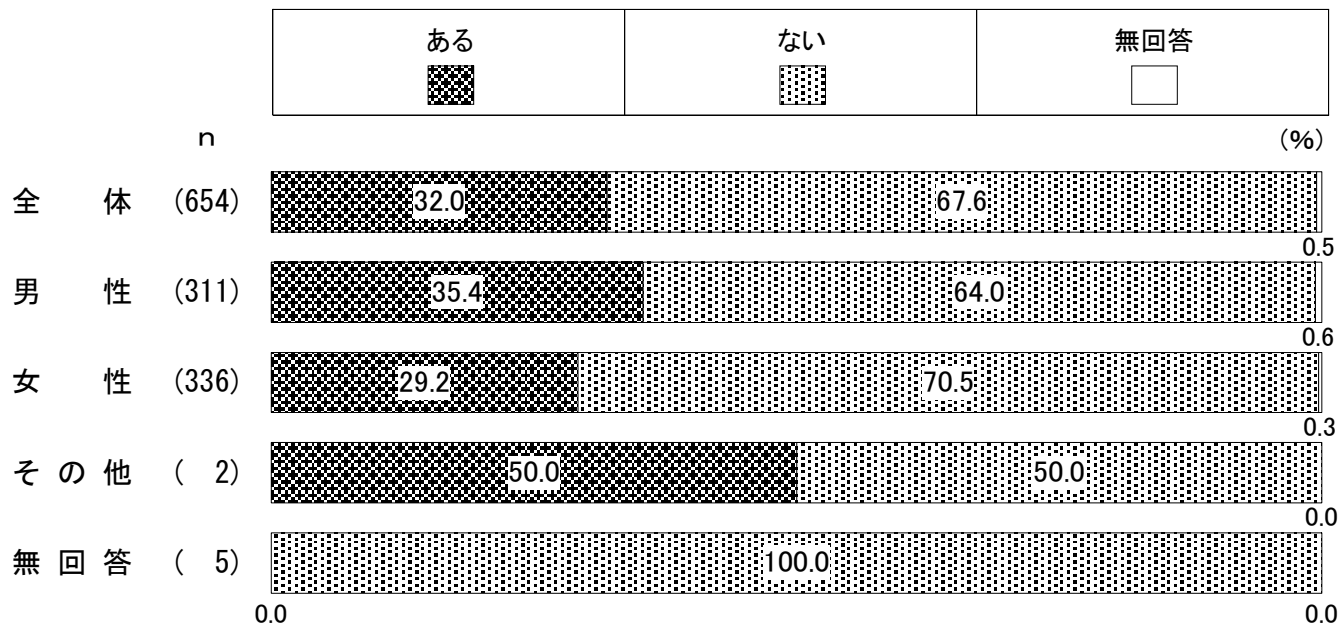
政策・方針決定過程への女性の参画が進んでいない理由





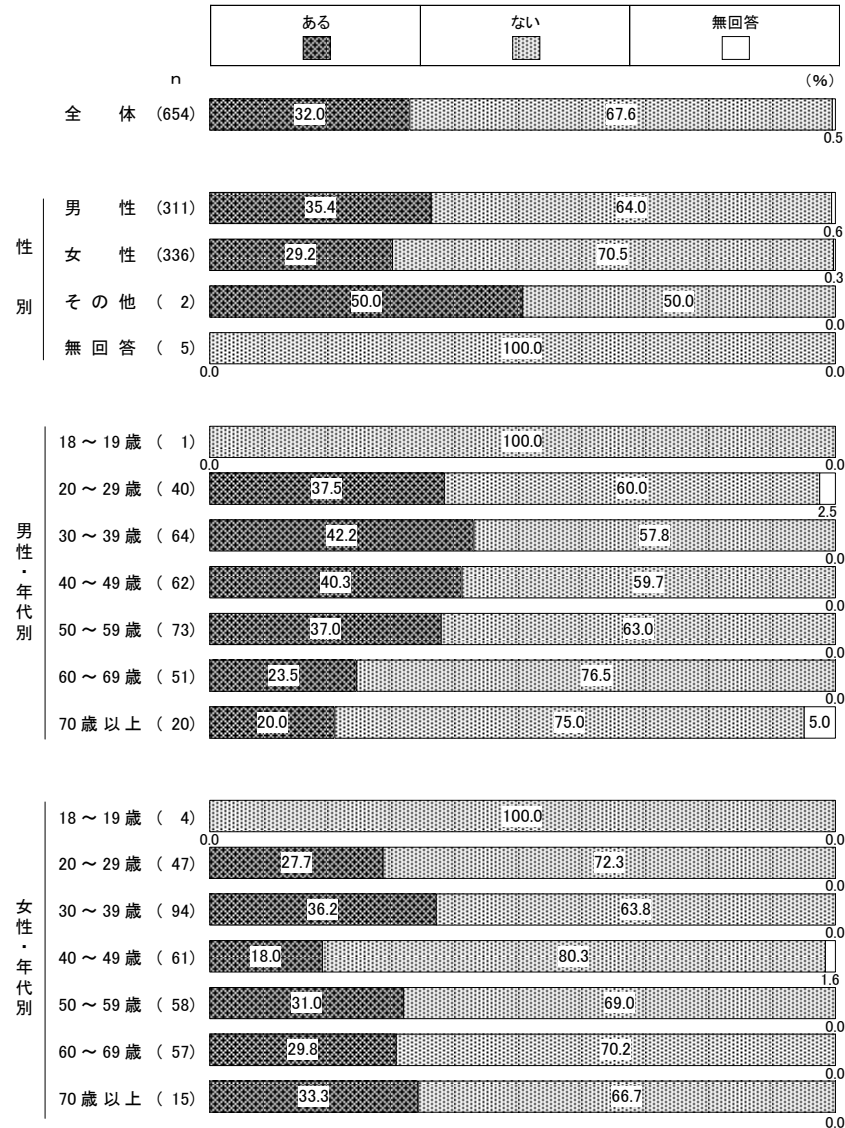
# 3-3. 仕事について①

仕事の内容や待遇面での性別による違いの有無



# 3-3. 仕事について②

<性・年代別>



令和4年度男女共同参画に関する市民意識・実態調査  
41Pグラフ

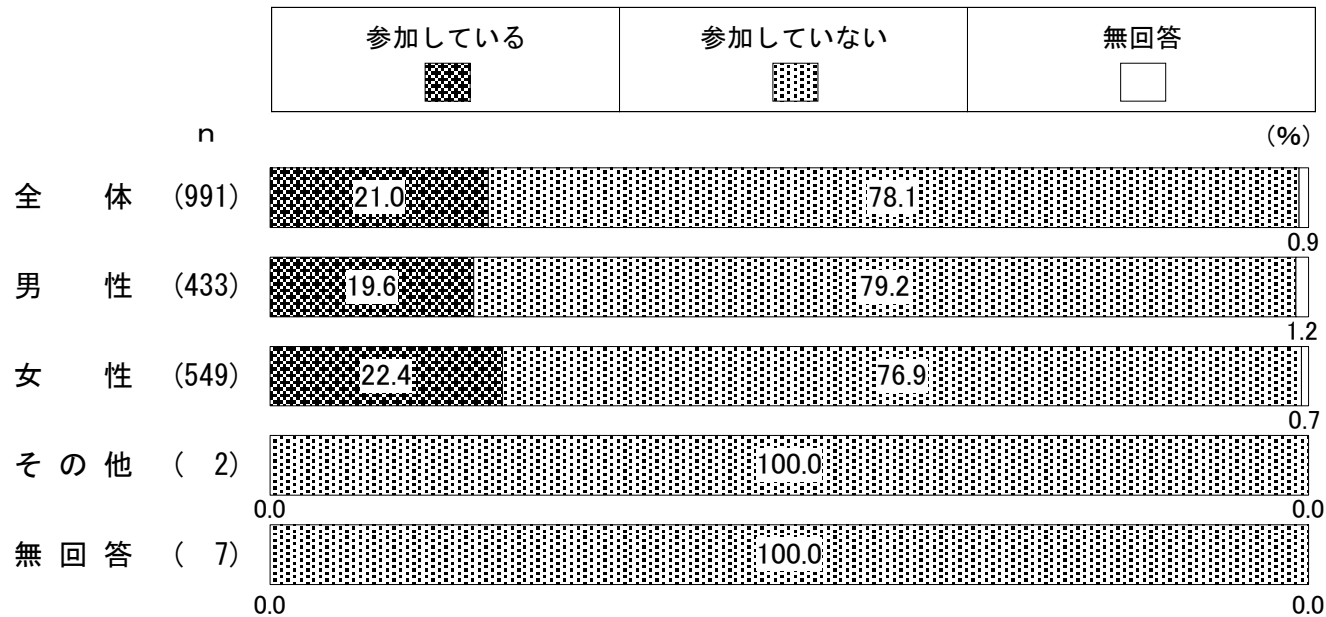
# 3-3. 仕事について③

仕事の内容や待遇面での性別による違いの具体的な内容 <性・年代別>

		n	女性の仕事は補助的業務や雑務が多い	男性は育児休業・介護休業を取得しにくい雰囲気がある	賃金・昇進昇給の面で違いがある	男性は長時間労働、サービスクラウド、休日出勤しなければならぬような雰囲気がある	募集や採用に違いがある	男性は転職を断れない雰囲気がある	希望職種に就く機会に違いがある	教育・研修を受ける機会に違いがある	女性には結婚や出産で退職しなければならないような雰囲気がある	その他
全 体		209	41.6	41.1	32.1	27.8	23.0	16.7	14.8	6.2	5.7	16.7
性別	男 性	110	40.9	40.9	26.4	38.2	22.7	21.8	14.5	6.4	5.5	20.9
	女 性	98	42.9	40.8	38.8	16.3	23.5	11.2	15.3	6.1	6.1	12.2
	そ の 他	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	無 回 答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性・年代別	18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	15	26.7	46.7	13.3	20.0	26.7	20.0	20.0	13.3	6.7	20.0
	30～39歳	27	40.7	55.6	37.0	55.6	14.8	37.0	11.1	3.7	-	33.3
	40～49歳	25	24.0	36.0	12.0	52.0	20.0	12.0	12.0	-	8.0	28.0
	50～59歳	27	63.0	37.0	22.2	29.6	22.2	18.5	11.1	7.4	7.4	7.4
	60～69歳	12	41.7	33.3	58.3	25.0	33.3	25.0	25.0	16.7	-	16.7
	70歳以上	4	50.0	-	25.0	-	50.0	-	25.0	-	25.0	-
女性・年代別	18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	13	46.2	38.5	38.5	15.4	15.4	15.4	7.7	-	7.7	7.7
	30～39歳	34	38.2	50.0	26.5	29.4	29.4	8.8	20.6	5.9	8.8	20.6
	40～49歳	11	45.5	36.4	45.5	9.1	-	9.1	9.1	-	-	18.2
	50～59歳	18	38.9	33.3	61.1	11.1	33.3	16.7	27.8	11.1	11.1	5.6
	60～69歳	17	47.1	47.1	41.2	-	23.5	11.8	5.9	11.8	-	-
	70歳以上	5	60.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0

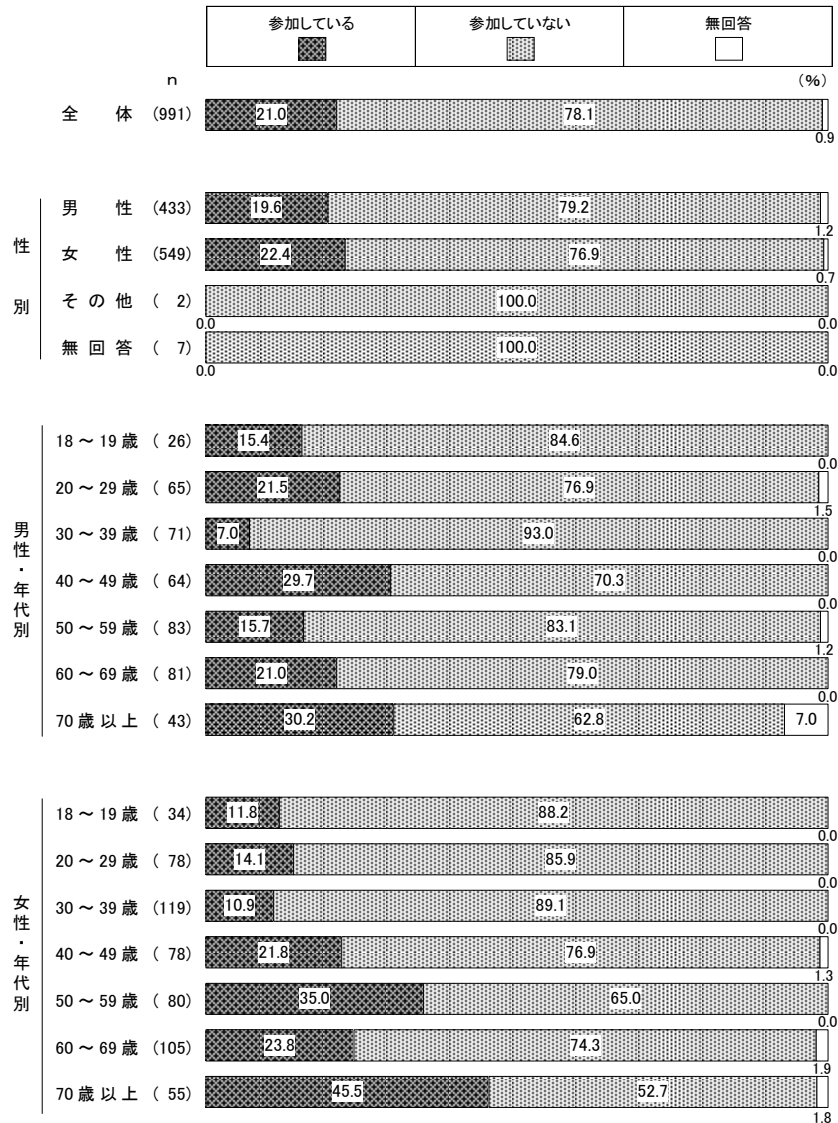
# 3-4. 地域活動について①

グループやサークル、団体等の活動の参加状況



# 3-4. 地域活動について②

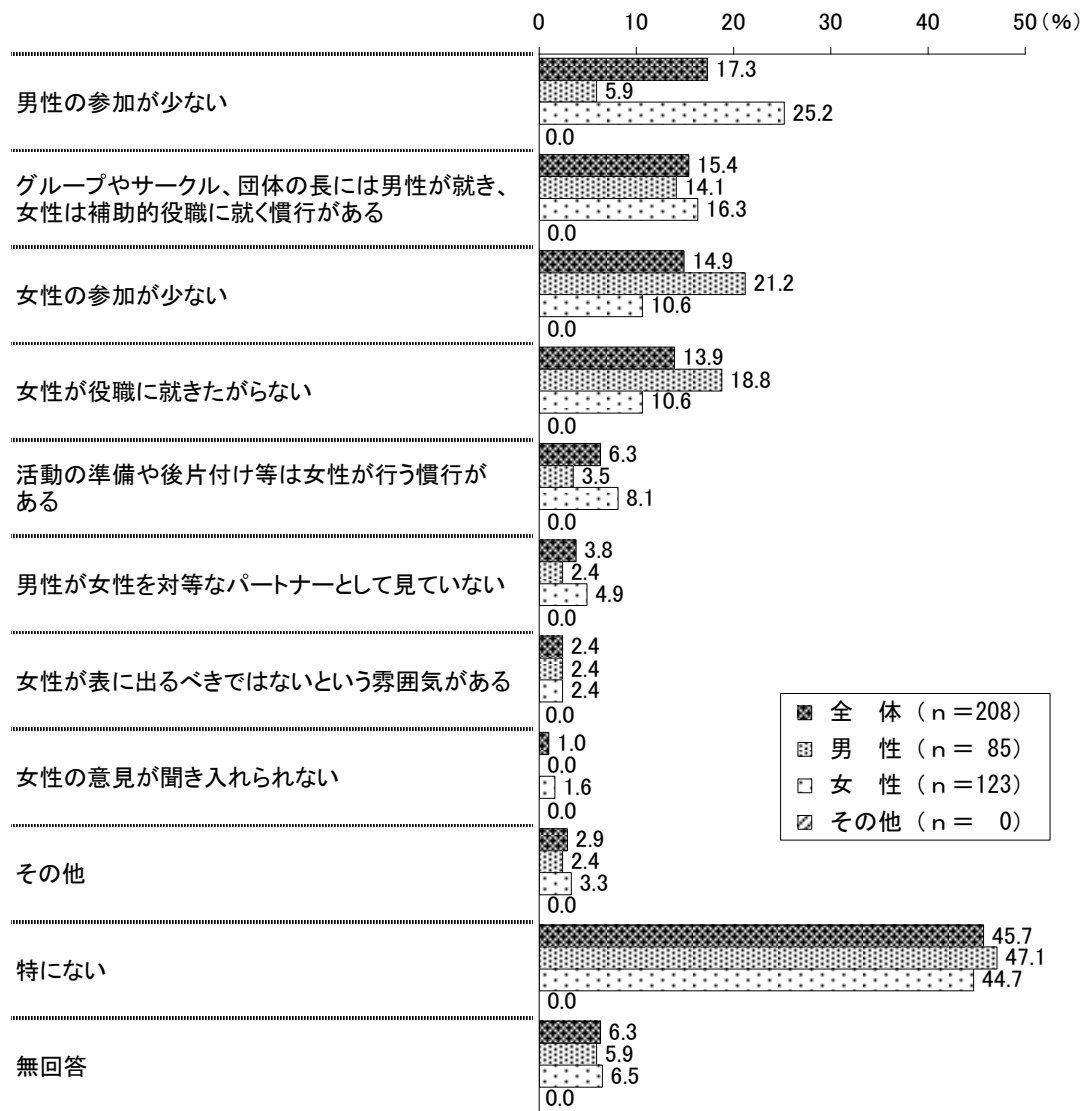
<性・年代別>



令和4年度男女共同参画に関する市民意識・実態調査  
45Pグラフ

# 3-4. 地域活動について③

活動に参加しているグループやサークル、団体等での性別による取り扱いの違い



令和4年度男女共同参画に関する市民意識・実態調査  
47Pグラフ

# 3-4. 地域活動について④

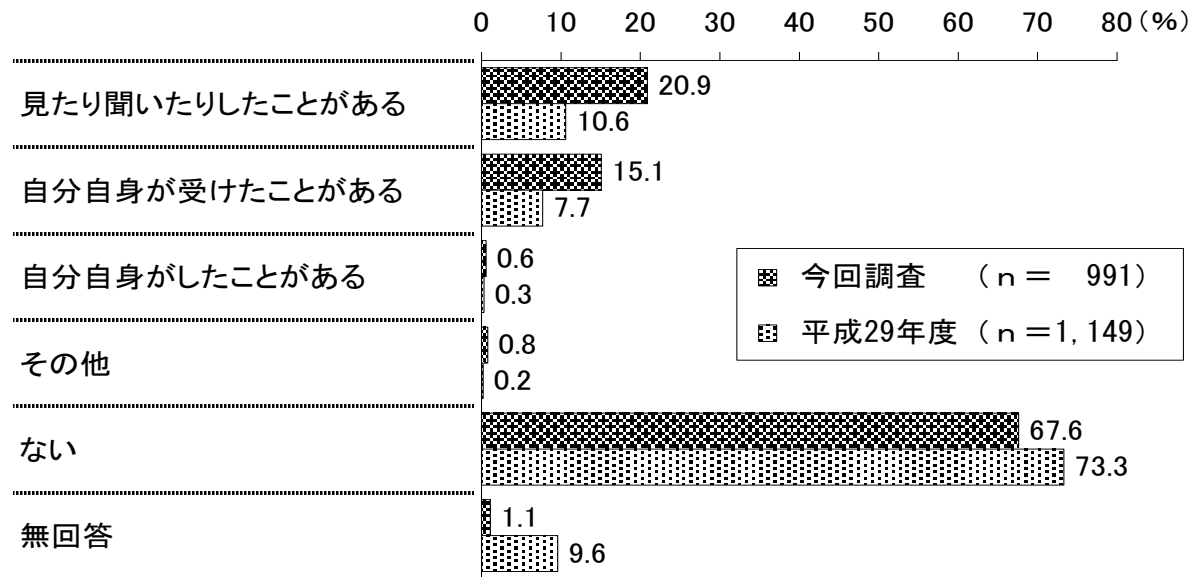
男女が共に地域活動に参加するために必要なこと <性・年代別>

(%)

	n	家事・育児・介護等が外に出られる条件をつく ること	性別により役割や活動内容を区別せ ず、個人の能力や個性を活かすこと	様々な立場の人が参加しやすいよ うに活動時間等を調整すること	健康であること	活動するきっかけや仲間がいること	企業が、社員が地域活動に参加し やすい労働環境をつくること	男性が地域団体の活動に関心や積極 性を持つこと	女性が地域団体の活動に関心や積極 性を持つこと	その他	特にな い	無回 答	
全 体	991	56.1	54.9	51.1	49.0	46.7	40.2	23.2	23.1	3.1	4.5	1.1	
性別	男 性	433	51.5	58.7	52.2	44.6	48.0	43.4	22.9	23.1	4.2	4.4	0.7
	女 性	549	59.6	51.7	49.5	52.5	45.9	37.9	23.0	23.0	2.2	4.7	1.5
	そ の 他	2	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-
	無 回 答	7	71.4	57.1	85.7	57.1	28.6	14.3	57.1	28.6	-	-	-
男性・年代別	18～19歳	26	53.8	76.9	53.8	23.1	46.2	53.8	23.1	30.8	3.8	7.7	-
	20～29歳	65	55.4	56.9	40.0	38.5	46.2	44.6	26.2	21.5	4.6	6.2	-
	30～39歳	71	54.9	57.7	42.3	38.0	50.7	43.7	22.5	26.8	8.5	2.8	-
	40～49歳	64	45.3	59.4	48.4	45.3	50.0	39.1	26.6	26.6	3.1	3.1	-
	50～59歳	83	56.6	61.4	62.7	42.2	42.2	50.6	26.5	24.1	4.8	2.4	1.2
	60～69歳	81	44.4	58.0	56.8	49.4	48.1	42.0	16.0	17.3	2.5	6.2	1.2
	70歳以上	43	51.2	46.5	62.8	72.1	55.8	30.2	18.6	18.6	-	4.7	2.3
女性・年代別	18～19歳	34	52.9	52.9	41.2	38.2	52.9	41.2	20.6	23.5	-	5.9	2.9
	20～29歳	78	74.4	66.7	43.6	42.3	44.9	47.4	28.2	29.5	1.3	3.8	1.3
	30～39歳	119	67.2	47.9	51.3	47.9	44.5	41.2	30.3	30.3	2.5	5.9	0.8
	40～49歳	78	60.3	60.3	50.0	47.4	50.0	35.9	16.7	12.8	3.8	5.1	1.3
	50～59歳	80	56.3	53.8	52.5	58.8	41.3	38.8	21.3	16.3	1.3	2.5	2.5
	60～69歳	105	49.5	42.9	50.5	61.0	45.7	32.4	21.9	22.9	2.9	5.7	-
	70歳以上	55	49.1	40.0	52.7	67.3	47.3	27.3	14.5	21.8	1.8	3.6	3.6

# 3-5. セクハラについて①

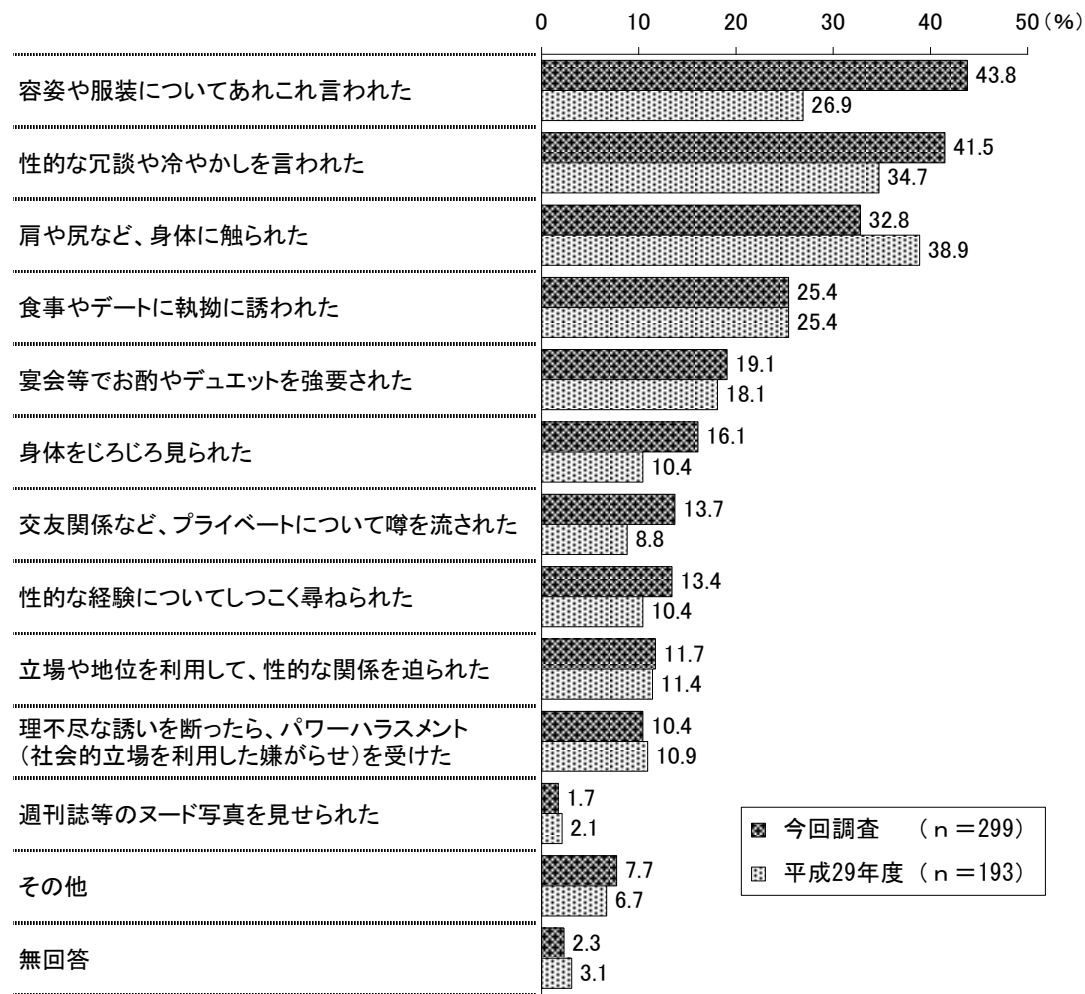
身近なところでのセクシュアル・ハラスメントの有無 <経年比較>





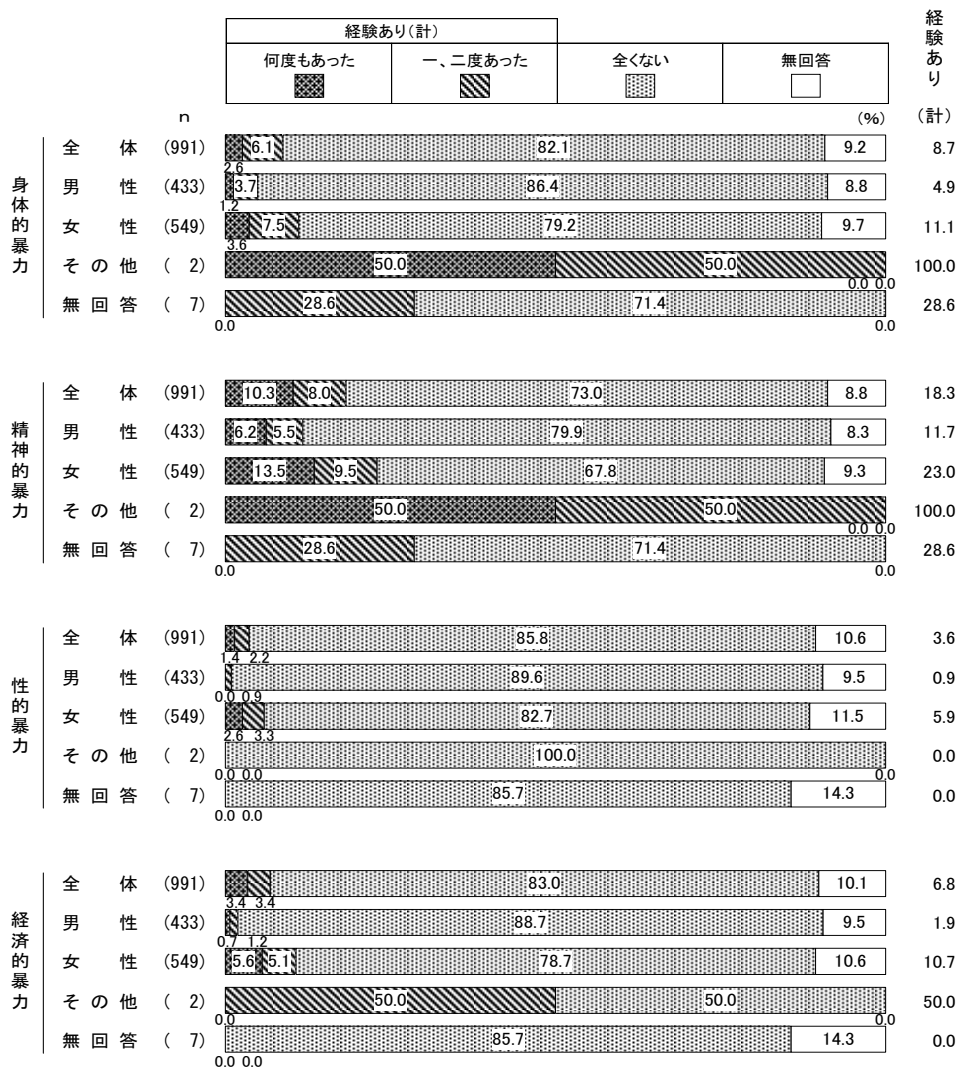
# 3-5. セクハラについて②

セクシュアル・ハラスメントの内容 <経年比較>



# 3-6. DVについて①

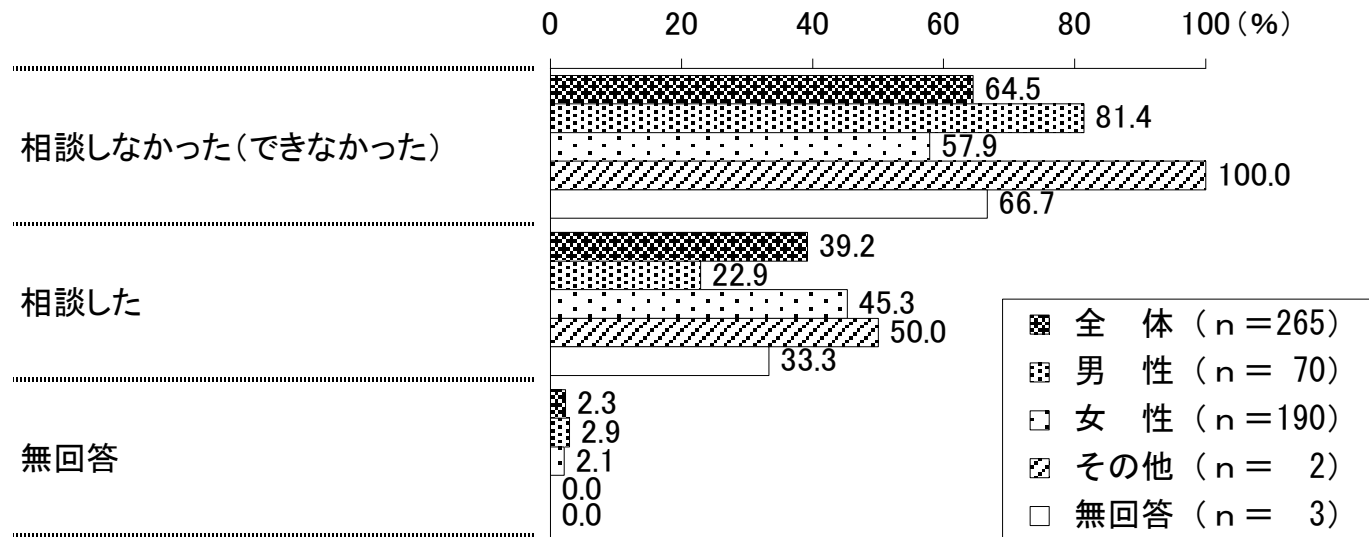
【DV(配偶者、元配偶者又は事実婚のパートナーなどからの暴力)】



令和4年度男女共同参画に関する市民意識・実態調査 53Pグラフ

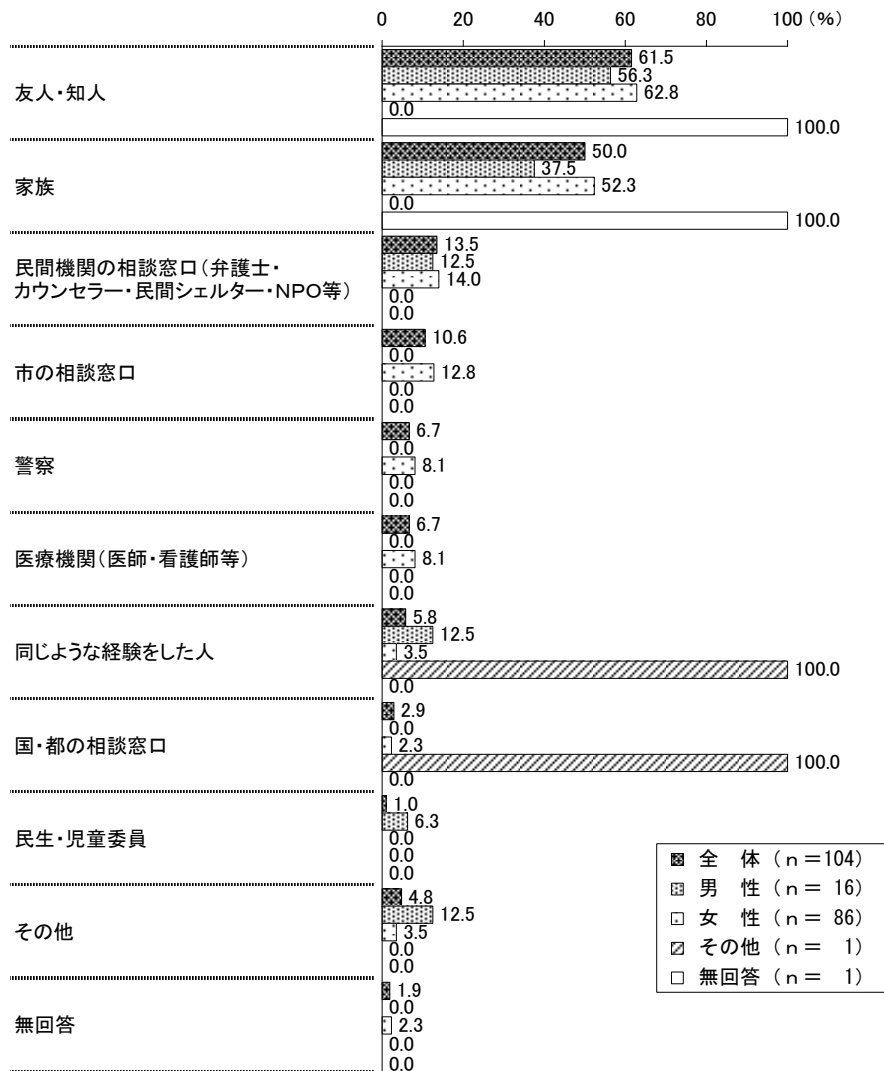
# 3-6. DVについて②

ドメスティック・バイオレンスを受けた時の相談の有無



# 3-6. DVについて③

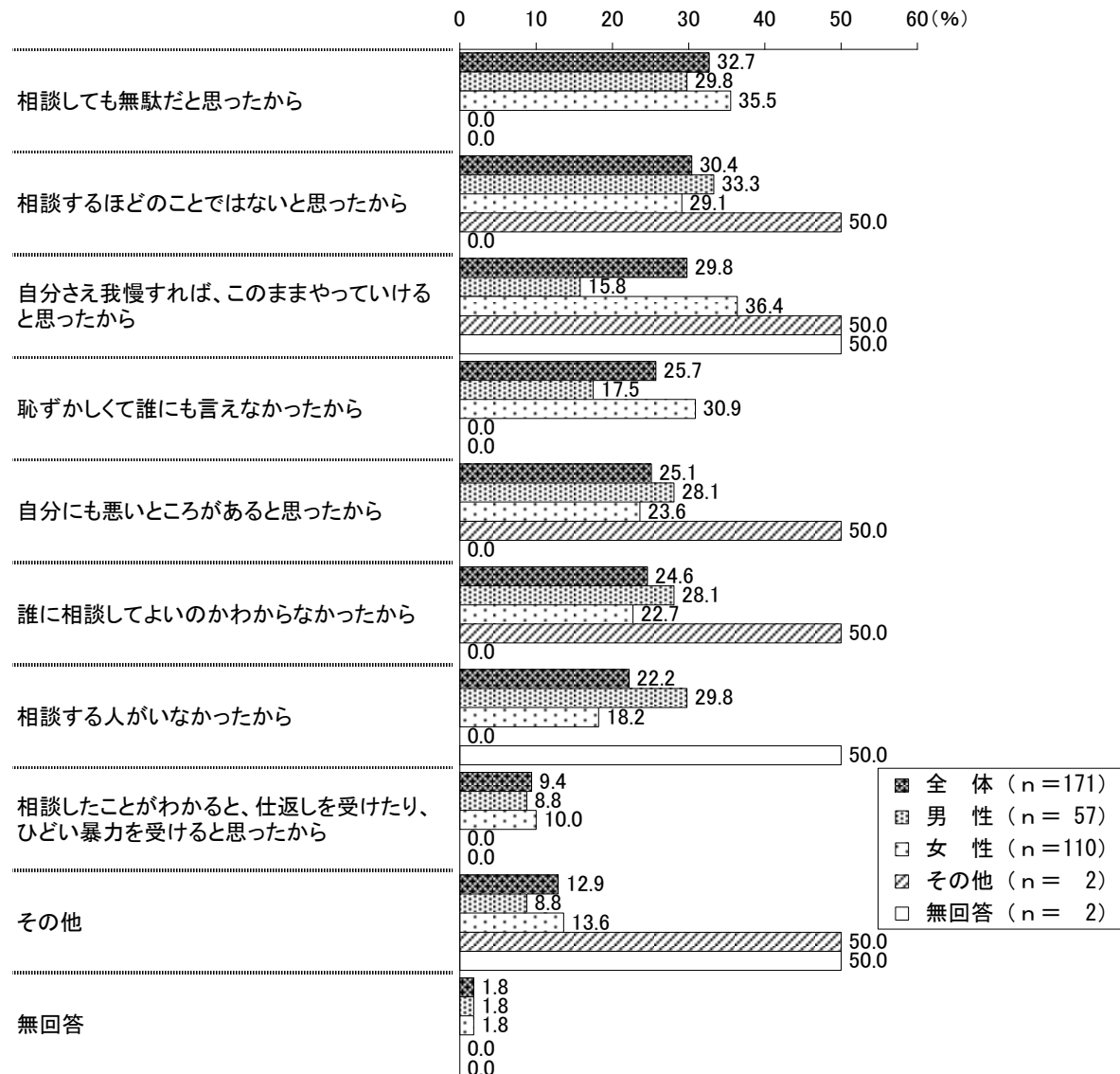
ドメスティック・バイオレンスを受けた時の相談相手



令和4年度男女共同参画に関する市民意識・実態調査 57Pグラフ

# 3-6. DVについて④

ドメスティック・バイオレンスを受けた時に相談しなかった(できなかった)理由



令和4年度男女共同参画に関する市民意識・実態調査 58Pグラフ